子どもがキラキラ育つまち

まちという名の家族

【問い合わせ】
町福祉課
福祉・子育てグループ
☎73-2222

しつけは暴力ではできません！
恐怖から子どもは学ばない

最近、新聞やニュースで「しつけ」に名を借りた保護者の暴力が後を絶ちません。「ゆるして」と懇願するノートを残して命を落とした女児の事件や、プラスチックのバットでたたかれ、夜中に置き去りにされた事件など、連日のように報道されています。なぜ、このような事件が後を絶たないのでしょうか。

世界の中で日本は多い「たたくしつけ」

日本では、子どもへの体罰や暴言を「しつけの一環」として容認する風潮があります。「しつけのためにたたくのは仕方ない」「体罰は必要」という考えが根強くあります。公益社団法人「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」が平成29年に実施した調査で、成人2万人の約6割が子どものしつけとして体罰を容認。子育て中の親1030人の約7割が、実際たたいた経験がありました。

身近にある体罰 たとえば・・・

◆ケース①
農村地域で家族が多く祖父母も同居していた。子どもには、言葉で言っても言うことを聞かないのでたたいて注意している。
この背景には、父母や祖父母に対し、自分はちゃんと「子育てしている」「しつけ」をしていることを分かってもらうためつい手が出てしまった。

◆ケース②
「もう、ダメって言っているでしょう！」なかなか寝付かない1歳半の子どもへのイライラから、怒鳴り思わず背中をたたいた。
すぐ我に返り「ごめんね、ごめんね」と声をかけ泣いている子を抱きしめた。「たたく」ことが自分の感情のはけ口になっていると気づいたが、強く言わないと子どもは分からないと思った。

「躾（しつけ）」とは・・・

集団社会のルールにあった行動ができるようにトレーニングすること。子どもが自分で自分をコントロールできるように大人がサポートすることで、子どもを抑制したり、威圧するものではありません。体罰は恐怖や痛みで子どもの言動をコントロールして従わせることです。ここから学ぶことは、「腹が立ったら暴力してもいい」それだけです。
11月は虐待防止月間です。この大きな問題を家族だけでなく、地域や社会で考えてみませんか。

第11回子どもフェスティバル

◆日　時　10月6日(日)
午前10時～午後0時半
※正午より、大ホールで松川敦子さんによる「親子でワクワクふれあいあそび」を行いますので、お楽しみに！

◆場　所
総合福祉センター「しゃるる」

◆対　象
就学前の乳幼児とその家族
※買ったものや景品を入れる袋をご持参ください。

消費生活相談室です

南空知消費生活相談室

毎週 月・木曜日	13：00～16：00	勤労者福祉センター
毎月 第2・4水曜日	13：00～15：00	☎72-3581

最新スマホが100円？ 実は有料サービスの申し込みだった

【国民生活センター事例より】
パソコンを使っていたら、ポップアップでアンケートが表示された。「簡単なアンケートに答えると最新スマートフォンが11万円のところ約100円で購入できる」と書かれていたので、アンケートに答え、住所、名前、メールアドレス、クレジットカード番号を入力した。すぐにメールが2通届いたが、何らかのサイトに登録されたというようなことが書いてあった。
（60歳代　男性）

【注意事項】
◎パソコンやスマートフォンの画面に、100円や1ドルといった安価で最新スマートフォンなどが購入できるという表示がされ、クレジットカード情報を入力したところ、実際には別の有料サービスの申し込みになっていたという相談が寄せられています。
◎手順途中には、よく見ると「キャンペーンに参加する権利」「有料サービスの契約」などと記載されています。表示を信用して、すぐに申込手続きを始めてしまうことは、トラブルの元です。個人情報を入力する前に内容をよく確認しましょう。
◎安易に個人情報、特にクレジットカードの情報を入力してはいけません。細心の注意を払うことが必要です。意図しない契約となってしまった場合は、すぐにカード会社に連絡しましょう。
◎困ったときは、南空知消費生活相談室にご連絡ください。

No.40　新しい力で栗山を元気に！地域おこし協力隊です

富山国際大学とコラボ企画

こんにちは。地域おこし協力隊の金谷です。
8月5日、富山国際大学の学生さんと栗山町の「Café&barくりとくら」がコラボレーションした「富山国際大学ナイトinくりとくら」に参加しました！
富山国際大学の学生さんは、昨年から栗山町地域おこし協力隊の取組状況を視察するため町を訪れ、今年も宿泊施設開業についての視察に来てくださいました。その機会にお互いのまちをさらに深く知る機会として開催したのが今回のイベントでした。
当日は多くのお客さんで賑わい、ほぼ満席状態でした。今回来てくれたのは生まれも育ちも富山県の男子学生さん3人！この日は、富山と栗山の特産品を使ったスペシャルメニューも用意され、学生さん自ら配膳と料理の説明をしてくれました。そして、富山県と大学の専攻についての紹介があり、最後には富山のお土産が当たるじゃんけん大会が開催され、大いに盛り上がりました！
私を含め、参加者の方々は「富山に行ってみたい！」と口をそろえて言っていました。行ったことのない土地の方とこうして出会い、いつかその土地を訪れる、という交流が生まれるというのはなんだか不思議で、素敵なことだな、と感じました。私たちも栗山町に訪れたくなるような魅力を伝えていけるように頑張ります！

【問い合わせ】
町PR隊事務所
☎㊻7729
cafe & bar くりとくら2階
（旧昭和堂時計店）